



# ミチグリニドCa・OD錠「JG」を服用される患者さまへ

ミチグリニドCa・OD錠5mg「JG」	ミチグリニドCa・OD錠10mg「JG」
	

このお薬はだ液だけでも飲むことができます。

舌の上で押しつぶすようにして溶かし、だ液と一緒に飲み込んでください。

水で飲むこともできます。

寝たままの状態では、水なしで飲まないでください。

食後の急激な血糖の上昇を抑え、血糖値を下げる糖尿病の薬が処方されています。

以下の点にご注意ください。

また、この注意は、必ず家族やまわりの方にも知らせてください。

## (1) この薬は食事前(食事前5分以内)にお飲みください。

- 食後の血糖の上昇に合わせてインスリンを出させる薬です。そのため、**食事を始める直前(食事前5分以内)**にお飲みください。食後服用ではすみやかな吸収が得られず、効果が減弱します。
- 服用後は必ず食事をとってください(服用後すみやかに効果があらわれますので、食前30分の服用では、食事開始前に**低血糖症状**を起こすことがあります)。

## (2) 飲み忘れたときには

- もし食事前に飲み忘れたときには、その回の服用は避けてください。2回分を1度にまとめて服用したり、空腹時にお飲みにならないでください。**低血糖症状**を起こすことがあります。

## (3) 低血糖症状を起こすことがあります。

- この薬を服用した場合は、低血糖症状を起こすことがあります。
- 低血糖症状が起こった場合は、**がまんせずに早めに糖分(砂糖、ブドウ糖など)**をとってください。ただし、**α-グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)**などの糖分の吸収を遅らせる薬剤を併用している場合には、**必ずブドウ糖**をとってください。
- 高所作業や自動車の運転等危険を伴う機械を操作している時に、低血糖症状を起こすと事故につながります。特に注意してください。

(裏面もご覧ください)

# 低血糖症状について

## ■低血糖症状とは

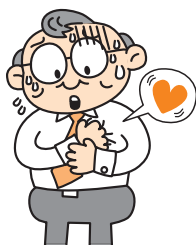
- 血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄が違ったような異常な行動をとることもあります。
- 症状が重い場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。
- 空腹時に起こりやすく、食べ物をとると急に良くなるのが特徴です。



手足のふるえ

## ■低血糖症状が起ったら

- 低血糖症状がもし起こったら、落ちついてすぐに糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとり、安静にしてください。日頃、ポケットやバッグの中など、常に糖分を持ち歩き、すぐその場で糖分をとれるようにしておくことが必要です。なお、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)を服用している場合は、ブドウ糖をとってください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。



冷や汗・動悸

## ■低血糖症状を起こさないために

- 低血糖を予防するためには、薬の量や飲み方は主治医の指導を守り、また食事療法・運動療法はきちんと守ることが大切です。
- 食事時刻の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

低血糖症状以外でも気になることがありましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

連絡先